

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	経済学
専攻	経済学
課程	博士前期
入試種別	一般入試（秋）
試験科目	筆記試験（基本的な知識を問う問題）
科目詳細	ミクロ経済学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

大学院の経済学の授業では、最適化問題を定式化し解くという能力が求められます。問1では、企業の意思決定問題において、最適化問題を定式化し解くことができるかを確認しています。問2では、消費者の意思決定問題において、最適化問題を定式化し解くことができるかを確認しています。また、問2では、ミクロ経済学の重要な概念であるパレート効率性についての理解度も確認しています。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	経済学
専攻	経済学
課程	博士前期
入試種別	一般入試（春）
試験科目	筆記試験（基本的な知識を問う問題）
科目詳細	ミクロ経済学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

大学院の経済学の授業では、最適化問題を定式化し解くという能力が求められます。問1では、独占企業の意思決定問題において、最適化問題を定式化し解くことができるかを確認しています。問2では、消費者の意思決定問題において、最適化問題を定式化し解くことができるかを確認しています。また、問2では、シェパードの補題についての理解度も確認しています。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	経済学
専攻	経済学
課程	博士前期
入試種別	一般入試（春）
試験科目	筆記試験（基本的な知識を問う問題）
科目詳細	計量経済学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

- 問1 (a) 計量経済分析におけるダミー変数の使用方法の理解を問う問題である。
 (b) 回帰分析において標準的仮定が成立しない場合に生じる問題と対処方法についての理解を問う問題である。具体的には説明変数と誤差項に相関があるときに、どのような問題があるのか。そして、その際の対処方法についての理解を問う問題である。
- 問2 計量経済学の理解をする上で基本となる確率論についての基本的知識と計算能力を問う問題である。
- 問3 単回帰モデルにおいて、最尤法の枠組みで推定量を導出する能力、導かれた推定量が不偏推定量となることを示す能力を問う問題である。
- 問4 重回帰分析における線形制約の検定方法についての理解を問う問題である。